

平成30年12月市議会定例会

企画管理部

議案説明資料

目次

[予算案件]

1	平成30年12月歳出予算(案)総括表	1頁
2	人件費補正について	2頁
3	平成30年7月豪雨災害派遣	3頁
4	名誉市民贈呈式開催費	4頁

[条例案件]

5	富山市行政手続きにおける特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例	5頁
---	---	----

[その他の議決案件]

6	富山市名誉市民の推挙について	6頁
---	----------------	----

[予算案件]

1 平成30年12月歳出予算(案)総括表

[一般会計]

(単位：千円)

区分 予算科目	補正前の額	補正額	補正後の額
	A	B	A+B
企画管理部 合計	9,330,605	▲440,849	8,889,756
(款2) 総務費	9,330,605	▲440,849	8,889,756
(項1) 総務管理費	4,262,673	▲463,766	3,798,907
(項2) 企画費	5,005,666	24,110	5,029,776
(項6) 統計調査費	48,266	▲1,193	47,073
(項7) 監査委員費	14,000	0	14,000

2 人件費補正について

(1) 人件費

項	目	所 属	現 計 予算額	補正額	補正後 予算額	職 員 数		
						千円	千円	千円
1 総務管理費	1 一般管理費	行政 管理 課	105,626	10,210	115,836	14	15	1
		(特別職再掲)	(69,383)	(536)	(69,919)	(4)	(4)	(0)
		職 員 課	3,470,830	▲ 475,139	2,995,691	145	22	▲ 123
		秘 書 課	94,001	30	94,031	12	12	0
		広 報 課	75,827	424	76,251	11	11	0
		公 文 書 館	22,149	252	22,401	3	3	0
	職 員 研 修 所	109,295	▲ 5,692	103,603	16	16	0	
	計		(69,383)	(536)	(69,919)	(4)	(4)	(0)
			3,877,728	▲ 469,915	3,407,813	201	79	▲ 122
2 企画費	1 企画総務費	企 画 調 整 課	104,774	14,721	119,495	13	14	1
		情 報 統 計 課	120,217	9,754	129,971	17	19	2
		文 化 国 際 課	57,151	303	57,454	7	7	0
		未 来 戦 略 室	62,868	▲ 10,782	52,086	7	6	▲ 1
	3 文化振興費	企 画 調 整 課	9,288	292	9,580	1	1	0
		文 化 国 際 課	8,928	57	8,985	1	1	0
	4 文化施設費	大 山 文 化 会 館	10,255	20	10,275	1	1	0
		婦 中 ふ れ あ い 館	8,495	91	8,586	1	1	0
	6 外国語専門学校費	外 国 語 専 門 学 校	71,943	▲ 5,657	66,286	8	8	0
7 ガラス造形研究所費	ガ ラ ス 造 形 研 究 所	49,053	279	49,332	5	5	0	
8 ガラス美術館費	ガ ラ ス 美 術 館	78,271	6,339	84,610	12	13	1	
	計		581,243	15,417	596,660	73	76	3
6 調査統計費	1 統計調査総務費	情 報 統 計 課	30,415	▲ 1,193	29,222	5	5	0
	計		30,415	▲ 1,193	29,222	5	5	0
	合 計		(69,383)	(536)	(69,919)	(4)	(4)	(0)
			4,489,386	▲ 455,691	4,033,695	279	160	▲ 119

() は特別職で内数

(2) 賃金等

項	目	所 属	現 計 予算額	補正額	補正後 予算額
1 総務管理費	2 人事管理費	職 員 研 修 所	1,029	0	1,029
		職 員 課	634	0	634
	3 広報広聴費	広 報 課	1,388	0	1,388
	4 文 書 費	行 政 管 理 課	1,388	0	1,388
		公 文 書 館	3,600	0	3,600
	11 国際親善費	文 化 国 際 課	4,680	0	4,680
	計	12,719	0	12,719	
2 企画費	1 企画総務費	企 画 調 整 課	14,207	1,402	15,609
	3 文化振興費	企 画 調 整 課	86,700	0	86,700
		文 化 国 際 課	197,427	1,862	199,289
	4 文化施設費	大 山 文 化 会 館	5,196	0	5,196
		婦 中 ふ れ あ い 館	18,627	0	18,627
	5 情報管理費	情 報 統 計 課	4,775	4,724	9,499
	6 外国語専門学校費	外 国 語 専 門 学 校	33,042	705	33,747
	7 ガラス造形研究所費	ガ ラ ス 造 形 研 究 所	44,141	0	44,141
8 ガラス美術館費	ガ ラ ス 美 術 館	18,387	0	18,387	
	計	422,502	8,693	431,195	
6 調査統計費	2 統計調査費	情 報 統 計 課	1,269	0	1,269
	計		1,269	0	1,269
	合 計		436,490	8,693	445,183

企画管理部人件費・賃金総合計	現 計 予算額	補正額	補正後 予算額
	千円	千円	千円
	(69,383)	(536)	(69,919)
	4,925,876	▲ 446,998	4,478,878

〔職員管理費〕

3 平成30年7月豪雨災害派遣

〔職員課〕

1 趣 旨

西日本を中心に大きな被害が発生した「平成30年7月豪雨」の災害復旧について、国及び全国市長会等からの要請に基づき実施した職員派遣で必要となった旅費等の経費を補正するもの。

2 事業内容

国や全国市長会等からの職員派遣要請に応じ、道路・河川の災害復旧に係る業務に従事する職員の派遣を行った。

派遣期間 平成30年10月18日から平成31年3月31日まで

派遣人数 1人（土木職）

派遣先 広島県呉市

経費 普通旅費（赴任旅費、帰任旅費ほか）485千円

3 予算額 485千円

（財源内訳）

・その他の雑入（派遣職員人件費等負担金） 485千円

〔表彰事務費〕

4 名誉市民贈呈式開催費

〔秘書課〕

1 趣 旨

富山市名誉市民条例に定める、広く社会文化の興隆その他公共の福祉に貢献し、その功績が顕著で市民の尊敬を受ける者に対し、富山市名誉市民の称号を贈呈するもの。

2 事業内容

本定例会で名誉市民の推挙に関し市議会の同意を求めている本庶佑氏にかかる富山市名誉市民贈呈式等の開催経費を計上するもの。

3 予算額 5,664千円

(財源内訳)

・一般財源 5,664千円

[条例案件]

5 富山市行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例

[情報統計課]

1 趣 旨

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律において、地方自治体が条例で定めることにより、個人番号を法定事務以外の事務にも独自に利用できるとされていることから、富山市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例（以下「番号利用条例」という。）を一部改正し、個人番号を利用できる事務を追加することにより、市民の利便性の向上と行政手続の簡素化・効率化を図るもの。

2 個人番号の利用範囲

市長又は教育委員会は、番号利用条例別表第2の第3欄に掲げる事務を処理するために必要な限度で、同表の第4欄に掲げる特定個人情報のうち自ら保有するものを利用することができる。

3 特定個人情報の提供

番号利用条例第5条第1項第1号の規定により、教育委員会は番号利用条例別表第3の第3欄に掲げる事務を処理するために必要な限度で、市長に対し、同表の第5欄に掲げる特定個人情報の提供を求めることができる。

4 今後のスケジュール（予定）

平成30年12月	番号利用条例改正
平成31年1月～	県及び個人情報保護委員会に申請・審査
平成31年7月～	独自利用事務に係る個人番号の利用及び情報連携の 開始

[その他の議決案件]

6 富山市名誉市民の推挙について

[秘書課]

1 富山市名誉市民に推挙する者

氏名 本 庶 佑 (ほんじょ たすく)
現住所 京都府京都市
生年月日 昭和17年1月27日 (76歳)

2 推挙理由

氏は、免疫反応の抑制に作用するタンパク質「PD-1」を発見され、その研究が、後に新たながん治療薬の実用化につながり、世界中の多くのがん患者に希望を与えた。

この功績により、平成30年12月10日、ノーベル生理学・医学賞受賞という世界的な栄誉に輝かれることになった。

幼少期をご尊父の出身地である本市で過ごされた氏のこうした栄誉は、本市及び市民にとっての大きな誇りであるとともに、夢と希望をもたらす快挙である。

この栄誉により、氏が、富山市名誉市民条例に定める広く社会文化の興隆その他公共の福祉に貢献し、その功績が顕著で市民の尊敬を受ける者に相応すると認められることから、富山市名誉市民に推挙するもの。

3 富山市名誉市民推薦委員会

平成30年11月13日富山市名誉市民推薦委員会に対し、本庶佑氏の富山市名誉市民への推挙について諮問したところ、11月16日に富山市名誉市民として推挙するにふさわしい者として推薦するとの答申がなされた。

【富山市名誉市民推薦委員会の概要】

会 長 高木 繁雄 (富山商工会議所会頭)

副会長 野尻 昭一 (富山市社会福祉協議会会長)

外 委員 7名

計 9名

4 富山市名誉市民の推戴状況

名誉市民数 14名 (平成30年11月現在)

うち、ノーベル賞受賞者 3名

【参 考】

富山市名誉市民一覧

	推戴年月日	フカナ 氏名	生年月日 (没年月日)	功 績	備考
1	S32.11.3	ヤマダ ヨシオ 山 田 孝 雄	明治6. 5. 10～ 昭和33. 11. 20	わが国の国語学の権威として学界の発展に貢献し、昭和32年文化勲章を受章。	旧富山市
2	S36.3.29	クロダ センタロウ 黒 田 善 太 郎	明治14. 2. 7～ 昭和41. 3. 27	コクヨ(株)の創設者。富山大学の講堂や郷土の学校に多額の寄附をするなど、教育文化の発展に貢献。	"
3	S36.3.29	バハ マル 馬 場 は る	明治19. 2. 22～ 昭和46. 5. 20	亡夫の海運業等の発展に尽くし、旧制富山高校の創設に多額の寄附をするなど、教育事業等の発展に貢献。	"
4	S40.12.18	ナカガ セイヘイ 中 田 清 兵 衛	明治9. 9. 26～ 昭和45. 5. 26	(株)北陸銀行の創設者並びに初代頭取。郷土の産業経済と教育文化の振興、発展に貢献。	"
5	S45.3.16	イムラ コキ 井 村 荒 喜	明治22. 11. 3～ 昭和46. 5. 10	(株)不二越の創設者。学校や病院を設立するなど、郷土の教育、福祉の発展に貢献。	"
6	S49.5.10	ウチノ シンジ 内 野 信 次	明治35. 9. 3～ 昭和53. 8. 28	初代町長(S29.4～S49.4)として、大沢野町の礎を築いた。	旧大沢野町
7	S54.11.3	サエキ ムネシ 佐 伯 宗 義	明治27. 2. 28～ 昭和56. 8. 4	富山地方鉄道(株)の創設者。県内の交通機関の整備促進や観光開発に尽力。衆議院議員として国政に寄与。	旧富山市
8	S54.11.3	オオシマ フミオ 大 島 文 雄	明治35. 4. 27～ 平成3. 9. 5	国文学の研究、殊に万葉集の研究に大きな足跡を残すとともに、県内諸学校の校歌を数多く作詞し、青少年の情操涵養に貢献。	"
9	S59.12.24	トネガリ ススム 利 根 川 進	昭和14. 9. 5～	大沢野町に在住(S22.2～S27.7)。昭和58年文化功労者顕彰、翌年文化勲章を受章。その後、昭和62年にノーベル生理学・医学賞を受賞。	旧大沢野町
10	S60.11.9	カガミ キイチ 河 上 喜 一	明治31. 11. 19～ 平成13. 12. 5	助役、町議会議長、監査委員等を歴任。善行児童生徒表彰基金や社会福祉センター施設基金に寄附をし、町の発展に貢献。	旧婦中町
11	H3.2.24	アサナ ケンジュウ 浅 名 源 重	大正10. 12. 17～ 平成10. 5. 15	昭和33年から8期32年間村長を務め、過疎脱却、活力ある村づくりに貢献。	旧山田村
12	H15.3.2	タカ コウイチ 田 中 耕 一	昭和34. 8. 3～	平成14年に文化勲章、ノーベル化学賞を受賞。43歳という若さでの受賞であり、日本企業の技術者としては初の快挙。	旧富山市
13	H27.7.12	ナカオ テツオ 中 尾 哲 雄	昭和11. 4. 2～	(株)インテックの役職員として情報通信技術の進展に尽力するとともに、富山経済同友会の課外授業講師派遣制度を創設するなど、教育普及活動及び青少年の健全育成に貢献。	富山市
14	H28.2.28	カシタ 効アキ 梶 田 隆 章	昭和34. 3. 9～	平成27年にノーベル物理学賞を受賞。同年文化功労者顕彰、文化勲章を受章。平成9年に自宅を富山市に構える。	富山市